

ギカイだより



「撃て！」

坂出第一高等学校3年 北山 聖華さん

坂出の瀬戸大橋記念公園で行われていた「塩まつり」でのパフォーマンスです。銃声が響く、にぎやかな祭りの様子を見て、これから坂出がもっと元気な町になりますようにと思いながら撮影しました。



GIKAIDAYORI contents

3月定例会の概要	2~3
一般質問	4~7
各種団体との意見交換会	8
委員会レポート	9
審議結果	10
政務活動費収支報告	11

「スローモーション」

坂出第一高等学校3年 久富 愛侑さん

学校で行われたクラスマッチの一コマです。ボールを追いかけ、歓声を上げる同級生の姿に元気をもらい、今のこの時間がゆっくりと過ぎたらしいのになあという想いを抱いて、シャッターを切りました。

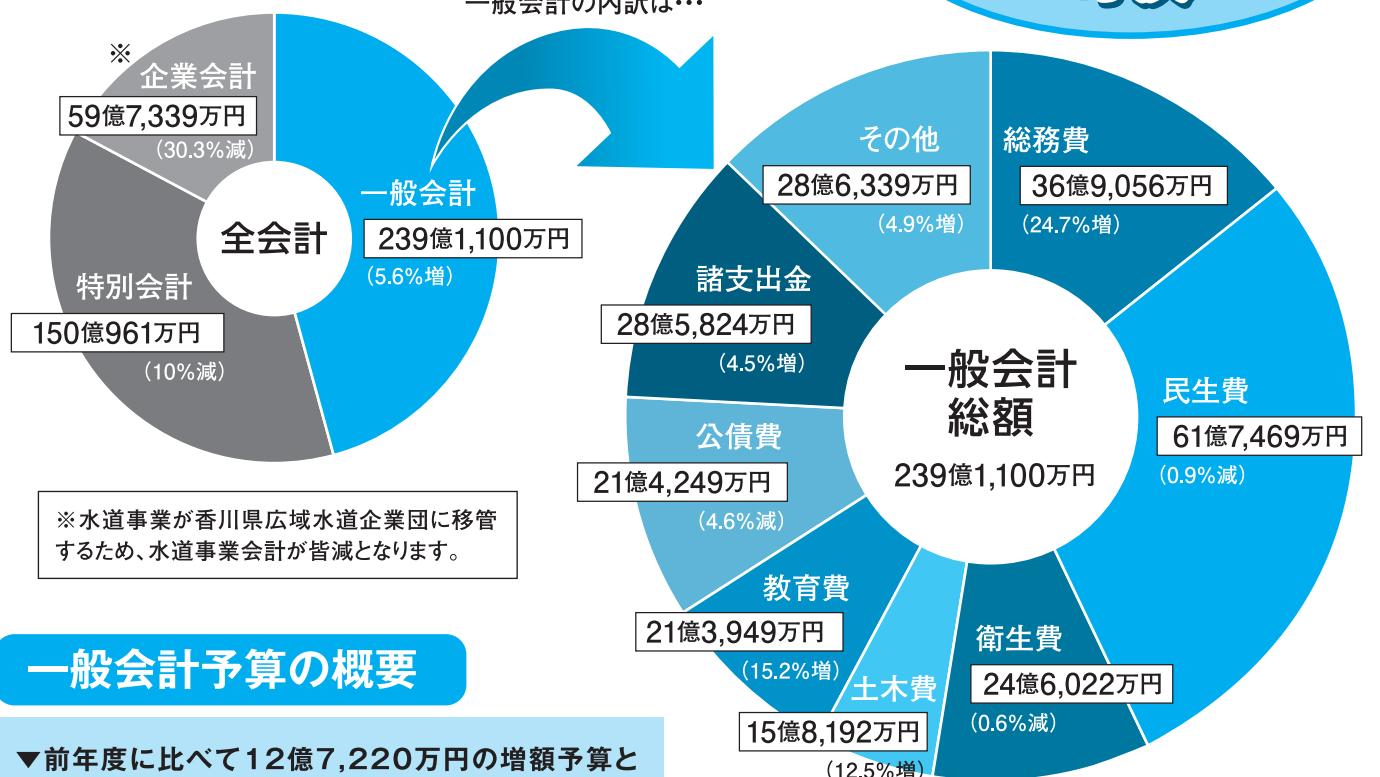
3月定例会の概要

3月定例会では、初日に市長から施政方針が示されるとともに平成30年度一般会計予算など11会計の当初予算案を初め、条例制定案3件、条例の一部改正案14件、平成30年度補正予算案6件、平成29年度補正予算案9件、工事請負契約の変更に関する議案等5件の計48件が提案され、各常任委員会での審査を経て(一部委員会への付託を省略)いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には市長より提出された人事案件4件及び議会運営委員会より提出された坂出市議会委員会条例の改正案について、いずれも原案のとおり可決しました。(議案の審議結果は10ページをご覧ください。)

平成30年度 一般会計・特別会計・企業会計予算

総額
**448億9,400万円を
可決**



一般会計予算の概要

- ▼前年度に比べて12億7,220万円の増額予算となっています。
- ▼歳入では、地方交付税は增收が見込めるものの、固定資産税や個人住民税をはじめとする市税において、前年度に比べて1億6,020万円の大幅な減収が見込まれています。
- ▼歳出では、庁舎建設基金積立金や公債費の減額が見込まれる一方で、退職手当の増に伴う人件費の増加などが見込まれています。さらには、大規模災害発生時に防災性能を有し、市民が安心して利用できるよう、新年度より新庁舎の建設に本格的に着手するとともに、昨年の台風で被災した橋梁の復旧工事など、安全・安心のまちづくりの実現に向け、積極的な予算投入がなされました。
- ▼その結果生じた財源不足約8億5,000万円については、財政調整基金からの繰入金により対応しました。

用語解説

一般会計

福祉や教育など市民のために広く使われる会計のこと

特別会計

一般会計とは別に国民健康保険事業や下水道事業など、特定の目的のために使われる会計のこと

企業会計

病院事業のように利用者が負担する経費(診察料)によって運営される会計のこと

財政調整基金

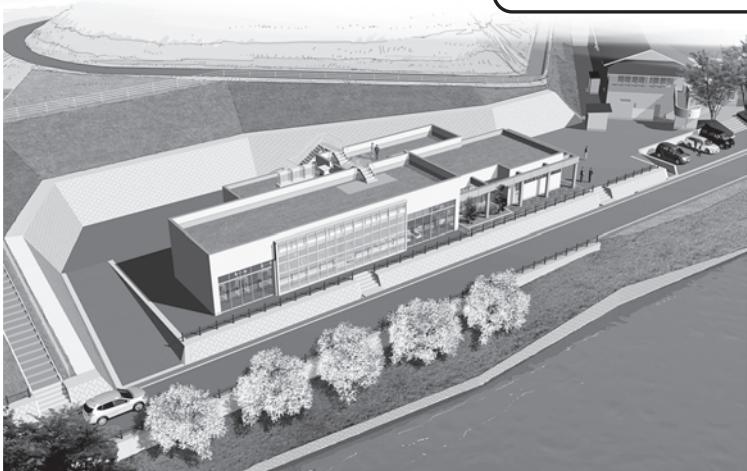
年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金、市の貯金のようなもの



主な議案を
Pick up

府中湖競技場 トレーニングセンターを整備

一般会計予算 1億6,676万円



競技人口の拡大や競技力の向上を目指すとともに、2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致や2022年全国高等学校体育大会四国地区開催のカヌー競技実施等に向け、老朽化した施設の改修や新たなトレーニング施設の整備を香川県とともに進め、「カヌーのまちさかいで」の推進を図ります。

カヌー研修センターの西側斜面を造成し、新しいトレーニングセンターを建設します。

また、カヌー研修センターの改修は、新トレーニングセンター完成後の2019年7月末の完成を予定しています。



補正概要

総務費

ふるさと坂出応援寄附基金
積立金 4,800万円

ふるさと坂出応援寄附金（ふるさと納税）の件数が年度当初の見込みを上回ったことによる増額。

教育費

公立小学校便所改修工事
6,383万円

小学校（金山、松山、加茂）のトイレの一部を改修。（翌年度へ繰越）

農林水産業費

防災事業補助金

1,200万円

土地改良区が行う台風、豪雨等による被災箇所の復旧に要する費用が年度当初の見込みを上回ったことによる増額。



Q&A 一般質問



一般質問は市政全般にわたり、市長その他執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について、所信を質したり、報告や説明を求めるために行うものです。

3月定例会でのみ所属3人以上の会派が代表質問（時間50分）を行うことができます。

今定例会では2会派が代表質問を行い、4名の議員が個人質問（時間30分）を行いました。

※質問の要旨を質問順に掲載しています。（代表質問は4～5ページ、個人質問は6～7ページに掲載しています）

代表質問

**大前 寛乗 議員
市民グループ未来の会**



**水道事業広域化後の
かわつ花菖蒲園の維持管理は**

**Q 水道事業の広域化に伴うかわ
つ花菖蒲園の維持管理や花菖
蒲祭の運営はどうなるのか。**

A かわつ花菖蒲園は川津浄水場内の一部施設を活用し、花菖蒲等の維持管理が行われています。企業団移管後も従来通り、かわつ花菖蒲園が維持できるよう、市長部局と川津浄水場の使用に関する協定書を締結し、香川県広域水道企業団へ承継していく考えです。

（水道局長）

A 毎年、多くの方が花菖蒲を楽しみにされており、本市の観光スポットのひとつになっていることから、企業団移管後も花菖蒲の維持管理は、引き続きにぎわい室で行うとともに、地元自治会などで組織される実行委員会が主催の花菖蒲祭、花菖蒲茶会についてもにぎわい室で担当します。

（建設経済部長）



**学校給食調理場の
今後の方針は**

Q

学校給食調理場のあり方及び整備等の方向性について、府内検討委員会を開催し、議論を重ねたとのことだが、その主な内容などのような検討結果になつたのか。

Q 昭和49年から成人式や各種行事の開催などで市民から大変親しまれている市民ホールが、平成31年3月末をもって休館することによる影響は多大なものであると思われるが、代替施設についての考えは。

A

これまでに3回開催した検討委員会での議論の内容は、施設・設備の老朽化も進む中での改修・修繕費用の増加、学校給食衛生管理基準を満たす機能面の整備、退職者不補充の方針による調理業務の民間委託の推進による委託費用の高騰などが挙げられ、解決方法を検討した結果、個々の調理場を維持するのではなく、新たに共同調理場を新設して運営していくことが効率的であり、有効な方法であるとの結論に至りました。

また、新年度予算において、学校給食共同調理場整備検討業務委託料を計上しており、業務委託の結果を踏まえ、早期建設を目指していくと考えています。

（教育部長）

**市民ホールの休館に伴う
代替施設は**

Q

昭和49年から成人式や各種行事の開催などで市民から大変親しまれている市民ホールが、平成31年3月末をもって休館することによる影響は多大なものであると思われるが、代替施設についての考えは。

A

本市の公的既存施設において代替施設になりうる施設を想定したところ、研修や式典等については、約200名から300名程度の来場者数であれば、市民ふれあい会館や勤労福祉センターが可能であると考えており、音楽関係や舞踏関係については、約300名程度であれば沙弥島万葉会館において、演目内容により可能であると考えています。しかし、事業内容や来場者数によっては、利用団体がその利用の目的や近隣施設等の利用を判断していただくなになると考えています。

本市にある公的既存施設等での代替が可能となるようその手立てについて、早急に講じていきたいと考えています。

（教育部長）

質問の主な項目

- ・市長の政治姿勢について
- ・グラウンドデザインについて
- ・都市間交流について
- ・健幸・福祉の充実についてなど

代表質問

吉田 耕一議員
新政会



UJ-ターン就職促進のため、就職説明会出展への補助制度創設を

三豊市では、市主催以外の就職説明会に参加する市内企業を増やすため、参加企業の広告宣伝費、出展費、輸送費を対象とした出展支援の補助金を設けています。就職希望者の選択肢を増やすために、本市もこのような制度を設けてはどうか。



A 近年人手不足が進み、売り手市場の傾向が強まる中、市内企業への就職及び定住の促進等を図ることを目的に、他市の先進事例も参考にしつつ、例えば市内に本社を置く中小企業が必要な人材を確保できるよう、このような就職説明会等に出展する際の補助制度についても検討していきます。（総務部長）

Q 職説明会に参加する市内企業を増やすため、参加企業の広告宣伝費、出展費、輸送費を対象とした出展支援の補助金を設けています。就職希望者の選択肢を増やすために、本市もこののような制度を設けてはどうか。

A PPPは公・民が連携して公共サービスを行う仕組みのことで、PPPも含まれます。PFIとは、公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るもので。そのメリットとして、①事業期間全体を通じた財政負担の軽減、②事業期間全体における平準化した支払いにより、厳しい財政状況下でも施設等の早期整備が可能、③民間事業者の事業機会の拡大、新規産業の創出などが挙げられます。（教育部長）

Q 学校給食共同調理場整備検討に当たり、PPP・PFI方式を含めて検討するようだが、どのようなメリットが考えられるのか。

Q 今後の市民ホールのあり方と見解は

質問の主な項目
・人口減少問題について
・行政運営の効率化と健全財政の確保について
・保健・医療の推進について
・子育て世代への支援について
・介護・高齢者福祉の充実についてなど

A 複合施設の建設に当たっては、将来に多大な負担が生じないよう、財政規律の維持への配慮が重要であり、民間活力の導入も含め、財政負担の軽減に向けたあらゆる選択肢を検討していくないと考えています。適切な時期に方向性を示しし、市民の皆様や議会のご意見をお聞きしながら、具体的な施設の規模や内容等を決定していくたいと考えています。（市長）

Q 旧市立病院跡地に公民館機能と市民ホールを備えた複合施設を建設すると言われているが、代替施設で対応できるのならば、財政状況を見ながらじっくり検討することも考えられる。施設の建設についてどのように考えているか。

ギカイを観る

本会議、委員会はご自由に傍聴いただけます。また、お体のご不自由な方も車いすのままで傍聴できますので、お気軽にお越しください。

ギカイを読む

本会議での質問や答弁などの発言は、毎回、会議録にまとめられ、図書館または市議会ホームページから自由にご覧になります。ぜひご利用ください。

ギカイを視る聴く

一般質問の模様に関しては、ケーブルテレビ(KBN)の生放送とインターネット配信(録画)でご覧になります。配信映像は市議会ホームページからご利用ください。

脇 芳美 議員
新緑



鳥インフルエンザ等が発生した場合の対応は

Q 市内の養鶏場で鳥インフルエンザ等が発生した場合の本市の対応は。

A 坂出市特定家畜伝染病対策を本部設置要綱に基づき、市長を本部長とする対策本部を設置し、県と連携を図りながら特定家畜伝染病対策マニュアルに沿って対応していきます。
(建設経済部長)

Q 感染した家畜の処分方法は。

A 香川県が鳥インフルエンザ対策本部を設置し、関係市町である本市と協議をする中で、処分方法を含む対応策について考えていくこととなります。
(建設経済部長)

- 質問の主な項目について
 - ・ 坂出農業振興地域整備計画
 - ・ 中小企業の活性化について
 - ・ 生活保護費の見直しについて
 - ・ 児童虐待について

綾川取水堰完成後の児童生徒への安全対策は

Q 綾川取水堰が完成すると府中小学校周辺が湖の状態となり危険である。児童・生徒の安全確保のため、取水堰周辺におけるフェンスの整備や運動場に防球ネットを設置するなどして、川に近づかないような対策が必要と思われるが、本市の対応は。

A 取水堰周辺における今後の利用形態を注視し、注意喚起のための看板や転落防止柵等の設置について、県と協議をしていきたいと考えています。しかし、協議には相当の期間を要すると考えられるため、まず、周辺の幼稚園、保育所、小学校に対して、児童・生徒への周知徹底をお願いする考えです。
(水道局長)

A 既存のフェンスに児童・生徒が安易に立ち入らないよう学校とも協議しながら管理の徹底を図っていきます。また、防球ネットも十分な高さを確保する必要があることから、運動場だけでなく校庭全体においても危険が及ぶことのないよう検討していきます。
(教育部長)

- 質問の主な項目について
 - ・ 生活保護について
 - ・ 会計年度任用職員制度について

出生数向上策と少子化問題の打開策は

Q 本市の人口動態は、昨年11人の社会増となつたが、今後も人口増加を維持するための出生数の向上策と少子化問題の打開策は。

A 全国的な晩婚化・非婚化の影響を受け、出生数は伸び悩んでいますが、子ども・子育て支援について、新年度より全ての公立幼稚園において給食を実施するほか、新たに乳児紙おむつ支給事業を開始するなど、「子育てしたいまち」の実現に向けてさらなる事業展開を図っています。
一方、少子化は国全体の問題であり、本来は、国が対策を講じるべきものと考えていますが、本市の実情に応じたきめ細かな取り組みを継続することで、必ずやこの状況を打破できるものと認識し、様々な施策を取り組んでいます。
(市長)

野角 満昭 議員
日本共産党議員会



経済活性化のため住宅リフォーム助成制度を創設しては

Q 他の自治体でも効果が認められている住宅リフォーム制度を創設することで、市内の中小企業に仕事が増えると同時に、商品券等の交付により制度利用者の購買意欲も生み出されることから、かなりの経済波及効果が期待されるが、本市の見解は。

A 本市では、市民の生命財産を守ることに重点を置いた、住宅対策支援事業を推進するとともに、新年度より移住・定住の促進を目的に移住促進・空き家改修等補助事業を実施します。
このふたつの事業により、地域内における経済効果が市内事業者へ波及することが推し量られると考えて、います。
(建設経済部長)



一般質問



Q & A
マイナンバーカードの普及促進策を

（総務部長）

マイナンバーカードは、作りにくい、作ってもメリットがないなどの理由で普及率が低いようであるが、さらなる普及促進策についてどのように考えているか。例えば、萩市のように、カードの申請時に必要な写真の撮影サービスを実施してはどうか。

A マイナンバーカードは、身分証明書としてだけでなく、各種行政手続きのオンライン申請等に利用できるほか、本市では、住民票等の証明書をコノビニで取得できるなど様々なメリットがあります。さらなる普及促進に向けた取り組みの必要性は認識しており、現在、個人情報の保護にも留意しつつ、写真撮影サービスを初めとしたオンラインでの申請補助サービスの実施方法等について検討を進めており、今後、早期に開始していくたいと考えています。

質問の主な項目

- ・新年度予算案について
- ・健幸のまちづくりに向けた取り組みについて
- ・番の州公園等についてなど

松成 国宏 議員
公明党議員会



犬、猫の殺処分件数減少に向けた取り組みは

Q & A
マイナンバーカードの普及促進策を

（総務部長）

犬、猫の殺処分を減らそうと全国各地の自治体が対策を進めているが、本市における、殺処分減少のための取り組みは。

A 市ホームページやワンワン情報等で周知しているように、新しい野良犬、野良猫を増やさないことが、処分件数を減少させる方法だと考えています。飼い犬、飼い猫の不妊・去勢手術の補助制度も適正頭数で飼い方を推進する方法です。

また、子供の時から正しい飼い方や命の大切さを学習することも大切であり、「動物愛護教室」の開催も必要と考えています。保健所が行う譲渡会の周知や「香川県・高松市動物愛護センター」への協力依頼も今後検討していくないと考えております。

（健康福祉部長）

A 循環バスは比較的短時間で一周するため、1ルートを2便同時に反対方向の運行をする時間的メリットは少ないと考えています。また、利便性の向上のため幅員の狭い道路も運行しており、車両の対向や停留所の新設等の問題に加え、運行維持のため支出している補助金も車両2台分とさらに多額になることから、上下線化は困難と考えています。子育て支援に関する運賃割引については、関係各課と検討していきたいと考えています。

（建設経済部長）

質問の主な項目

- ・新年度予算案について



A 市内の高校には、普通科以外に多方面の学科があり、各学科の卒業生が様々な分野で活躍されていると想います。高校時代を本提示により妊娠や3歳未満の子供同伴の父母を運賃無料の対象に加えてはどうか。

（副市長）

Q & A
循環バスのさらなる利用促進を

（建設経済部長）

循環バスの利用率アップに向け、通勤客や塾通いの児童生徒の利用増と安全対策にもつながるため、以前から市民要望の強い東西ルートの上下線化と夜ダイヤの増便をしてはどうか。また、子育てに優しい本市の取り組みを市内外に強く発信するため、母子手帳の提示により妊娠や3歳未満の子供同伴の父母を運賃無料の対象に加えてはどうか。

Q & A
坂出市出身やゆかりのある著名人を観光大使に任命しては

（副市長）

県内他市では、著名人をブレーンにして市の活性化につなげようとしている事例もある。坂出市出身やゆかりのある人物も多士済々であり、こうした人たちを観光大使に任命し、坂出の魅力を積極的に発信していただきはどうか。

出田 泰三 議員
市民の声



犬、猫の殺処分件数減少に向けた取り組みは

（総務部長）

各常任委員会と各種団体との意見交換会を実施しました

坂出市議会基本条例に基づき、各種団体の多様な意見、提案を吸収することで、本市の抱える課題等を明確にし、本会議における政策討論や市長への政策提言、次年度予算への反映等を目指していきます。

市民建設委員会

2月20日

坂出園芸センターの方々と、本市農業の現状と課題について意見交換会を行いました。

プロッコリーの保冷庫やみかんの選果機、レタスの出荷場など現地視察も行い、その後、本市農業における課題や問題点について意見交換を実施しました。

意見交換会では、人材不足や農地不足といった課題や各種補助制度の創設・拡充など様々な意見をいただきました。



教育民生委員会

3月23日

東部小学校栄養教諭、給食調理場の調理員（委託業者）、坂出市学校給食会の方々と、学校給食の現状と課題について意見交換会を行いました。

白峰学校給食共同調理場及び東部小学校の給食調理場の現地視察も行い、その後、主に小学校での給食の実施状況及び現在の調理場の問題点や課題、また、共同調理場整備のメリット等についてお話を伺いました。



全国から
坂出に!!

本市の施策を調査・研究するために、全国各地の議会が本市を訪れています。



平成29年度は26団体が来庁

1月1日から3月31日に来庁された8議会を掲載しています。

- 1月18日 沖縄県読谷村 坂出ブランド認定制度
市民後見推進事業について
23日 愛知県幸田町 市民後見推進事業について
24日 埼玉県鴻巣市 市民後見推進事業について
29日 長野県駒ヶ根市 にぎわい創出事業について
31日 福岡県嘉麻市 常任委員会意見交換会
防災訓練について
2月13日 大阪府寝屋川市 議会改革（常任委員会意見交換会）について
15日 愛媛県八幡浜市 議会報告会、政務活動費について
3月23日 静岡県沼津市 市民後見推進事業について

主な項目

- | | |
|---------------|----|
| 1.市民後見推進事業 | 8件 |
| 2.認知症初期集中支援事業 | 5件 |
| 3.議会改革 | 5件 |

委員会

Report

レポート

付託議案
25件

教育民生 委員会

全議案全会一致で可決



乳児紙おむつ支給事業が始まります。

子育て中の家庭の経済的負担軽減及び子育て支援の一層の充実を図るため、生まれた子供一人につき生後1年間使用できる紙おむつ引換券1万2,000円分を交付します。

Q 引換券の有効期限は。

A 有効期限は、1歳の誕生日の末日までです。1,000円の券を12枚お渡ししますが、1回あたりに使える枚数の制限はありませんので、まとめて使うこともできます。

Q 指定取扱店にはどのような店舗を考えているか。

A 紙おむつを取り扱う市内の小売店に依頼し、今後取扱店を指定していきます。指定取扱店では、この事業ののぼりなどを設置してもらう予定です。

坂出北フルインター建設促進特別 委員会



坂出北インターチェンジ整備の進捗について、本州四国連絡高速道路株式会社において昨年11月より地形測量等を実施するとともに、本年1月からは環境調査等の業務及び地質調査業務としてボーリング調査を1地点で実施したとの報告を受けました。また、今後の予定について、平成30年度より詳細設計に入り、用地取得後、2019年度より工事着手、2024年完成の予定であるとの説明がありました。

一方、本市の施工箇所としては、聖通寺山の登山道である市道聖通寺登山線における道路の切り下げなど改良が必要となるものです。



坂出北インター

付託議案
11件

総務消防 委員会

全議案全会一致で可決



移住促進・空き家改修等補助制度が創設されます。

本市への移住促進、定住人口の増加を目的に、香川県空き家バンクに登録されている物件などの改修工事等に対して、申請に基づき補助金が交付される制度です。

Q 対象の戸建て住宅が耐震基準を満たしていない場合、前提となっている空き家バンクへの登録ができないケースもあると聞いたが。

A 空き家バンクに登録しようとする際には、登録可能な物件かどうかを判断する香川県建築士会の現地調査(無料)を受けていただき、そのときに様々なアドバイスを受けられます。なお、耐震基準を満たしていない場合は、別途耐震改修補助金も利用していただければと思います。

付託議案
13件

市民建設 委員会



議案第62号については
採決により可決、その他は全て全会一致で可決

瀬戸大橋開通30周年記念事業が開催されます。

本年4月に瀬戸大橋が開通30周年を迎えることから、香川県・岡山県などが主催するキックオフイベントを皮切りに様々なイベントが開催される予定であり、本市でも独自の記念事業を実施する予定であるとの説明がありました。

- 瀬戸大橋遊覧飛行(4月7日・8日開催済)
- 瀬戸大橋関連講演会(調整中)
- さかいでの第九演奏会(9月30日)



平成30年 3月定例会の審議結果

議員数=20名 表決参加議員数=18名(欠席議員1名)

(※1) (※2)

*議長は表決には加わりません。



(※1) 表決参加議員数20名
(議長も表決に加わります。)

市長提出議案

議案第41号 坂出市水道事業の設置等に関する条例を廃止する
条例制定について

原案可決に 賛成

原案可決に 反対

植原 泰、脇 芳美、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、斎藤義明
出田泰三、茨 智仁、大藤匡文、前川昌也、植條敬介、若杉輝久、松成国宏
楠井常夫、吉田耕一、大前寛乗、山条忠文、東山光徳

野角満昭



(※2) 表決参加議員数19名

市長提出議案

議案第42号 坂出市水道事業の廃止に伴う関係条例の整備に関する
条例制定について

原案可決に 賛成

原案可決に 反対

植原 泰、脇 芳美、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、斎藤義明
出田泰三、茨 智仁、前川昌也、植條敬介、若杉輝久、松成国宏、楠井常夫
吉田耕一、大前寛乗、山条忠文、東山光徳

野角満昭



市長提出議案

議案第46号 坂出市議會議員の議員報酬及び費用弁償等に関する
条例の一部を改正する条例制定について

原案可決に 賛成

原案可決に 反対

植原 泰、脇 芳美、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、斎藤義明
出田泰三、茨 智仁、前川昌也、植條敬介、若杉輝久、松成国宏、楠井常夫
吉田耕一、大前寛乗、東山光徳

野角満昭



市長提出議案

議案第48号 坂出市職員退職手当条例等の一部を改正する
条例制定について

原案可決に 賛成

原案可決に 反対

植原 泰、脇 芳美、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、斎藤義明
出田泰三、茨 智仁、前川昌也、植條敬介、若杉輝久、松成国宏、楠井常夫
吉田耕一、大前寛乗、東山光徳

野角満昭



市長提出議案

議案第62号 平成30年度坂出市一般会計予算(案)

原案可決に 賛成

原案可決に 反対

植原 泰、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、斎藤義明、出田泰三
茨 智仁、前川昌也、植條敬介、若杉輝久、松成国宏、楠井常夫、吉田耕一
大前寛乗、東山光徳

脇 芳美、野角満昭

反対意見(要旨) ごみ処理手数料有料化事業(野角議員)、同和対策事業(脇議員、野角議員)、
マイナンバーに関する事業(野角議員)について反対である。

全議員が賛成した議案
(可決・同意)

市長提出議案

予 算

平成30年度坂出市国民健康保険特別会計予算案
など 25件

条 例

坂出市指定居宅介護支援等の事業の人員および
運営に関する基準等を定める条例制定など 13件

その他

工事請負契約の変更についてなど 5件

議案内容等の詳細は、
坂出市議会ホームページ
【議案内容等・審議結果】を
ご覧ください。

委員会提出議案

坂出市議会委員会条例の一部を改正する条例制定

3月定例会で同意した人事案件【敬称略】

◎坂出市教育長

國重 英二

◎坂出市公平委員会委員

瀬戸 早苗 中川 靖夫

◎坂出市固定資産評価員

加藤 悟史

◎人権擁護委員候補者

三野 郁子

平成29年度

政務活動費 收支報告



最近話題の
政務活動費ってなに?

政務活動費とは、地方自治法に基づき、市長が議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付するものです。その交付額や交付対象については坂出市議会政務活動費の交付に関する条例で定めており、各会派に対し所属議員1人当たり年額25万円を交付しています。



(単位 円)

会派名	市民グループ 未来の会	新政会	公明党 議員会	市民の声	改進の会	日本共産党 議員会	新緑	市民と共に
会派人数	8人	4人	2人	2人	1人	1人	1人	1人
交付額	2,000,000	1,000,000	500,000	500,000	250,000	250,000	250,000	250,000
使 途 の 内 訳	調査研究費	0	0	0	0	0	0	0
	研修費	79,380	0	82,012	444,586	0	0	161,168
	会議費	0	0	0	0	0	0	0
	調査旅費	1,713,358	502,015	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	9,990	0	28,612	4,000	0	0	0
	広報費	0	239,760	0	0	0	250,000	0
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	0	0	0	0	0	0	0
残額(払戻)	197,272	258,225	389,376	51,414	250,000	0	250,000	88,832

※平成30年3月31日現在の会派について掲載しています。

どういうことに
使えるの?

会派が行う調査研究、研修、各種会議への参加、広報、広聴、要請・陳情活動など、市政の課題や市民の意見を把握し、市政に反映するための活動等が対象になります。政党活動、後援会活動、私人としての活動のための経費等は対象となりません。

本市の平成29年度実績では、先進地視察や研修などの経費(84.9%)、広報紙作成等の経費(13.9%)、図書や資料等の購入などの経費(1.2%)に使われています。

毎年度終了後に、領収書の写し等の証拠書類を添付した収支報告書を議長に提出することになっています。議長が収支報告書の内容を確認した後、市長へ収支報告書の写しを送付します。残額があった場合はすべて市長へ返還します。

平成29年度分から、さらなる透明性確保のため、収支報告書に加えてすべての領収書をホームページで公開します。

領収書は添付
しているの?



再 さかいで 発見! vol.3「坂出の映画館」



坂出日活(1960年)



坂出東宝(1963年)

1950年代から1960年代初め頃は日本映画の黄金期と言われ、ピーク時の1958年（昭和33年）には11億人超の観客が映画館を訪れたそうで（一般社団法人「日本映画製作者連盟」HPより）、人口1人当たりで年間平均12.3回というから驚きです。



大衆館跡 (林田町)



王越劇場跡 (王越町)



加茂末広館跡 (加茂町)



高屋劇場跡 (高屋町)

同じ頃、本市の中心街には7つの映画館がありました。周辺にも実は7つの映画館「大衆館」（林田）、「林田劇場」、「松山劇場」、「高屋劇場」、「加茂末広館」、「王越劇場」、「松竹座」（横津）があったそうです。建物はほとんど壊されていますが、大衆館跡には切符売り場らしきものが残っていて当時の面影が偲ばれます。また、劇場主のご子息で当時高校生だった男性は、上映後の映画をすぐに別の映画館へ「バタバタ」という自転車バイクで運んでいたと懐かしそうに語ってくれました。

※白黒写真は、詫間良一氏 所蔵

編集後記

平成30年度の予算編成は、本市の最重要施策である人口増対策や安全・安心のまちづくりなど、一般財源を要する事業への対応を講じた結果、多額の財政調整基金を取り崩さざるを得ない非常に厳しい編成となりました。「坂出に住みたい」と思っていただけるためには、引き続き、施策の選択と集中のもと、「働きたい住みたい 子育てしたい 共働のまち さかいで」の実現に向け、市議会の一員として、役割と責任を果たしていくなければなりません。（鳥飼）

広報広聴委員会 委員長……出田泰三 副委員長……植原 泰
委員……鳥飼年幸 若谷修治 村井孝彦
若杉輝久 松成国宏 楠井常夫

次回開催は…
5月臨時会を5月中旬に、6月定例会を
6月中旬に開催予定です。

